

## 患者さんへ ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 メチシリン耐性表皮ブドウ球菌(MRSE)に対するバンコマイシン(VCM)及びダプトマイシン(DAP)の有効性及び安全性に関する検討 』

### 【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院 薬剤部では、ダプトマイシン(DAP)によるメチシリン耐性表皮ブドウ球菌(MRSE)に対する治療効果を明らかにし、従来使用されているバンコマイシン(VCM)との効果の比較をすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、MRSE 感染症患者に対して VCM の投与が困難な場合に DAP による治療の有用性につながります。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2016 年 1 月～2018 年 12 月までに東邦大学医療センター大橋病院 全診療科において、メチシリン耐性表皮ブドウ球菌(MRSE)が血液培養検体から検出され VCM 又は DAP による治療を受けた 20 歳以上の患者さん(約 40 例)を対象として、診療録(カルテ)から抽出した臨床データを解析します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方、15 歳以上の未成年者の代諾者の方は、下記までご連絡下さい。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 薬剤部

職位・氏名 平山 忍

電話 03-3468-1251 内線 3010